

園芸市場情報

平成28年2月号

www.pref.chiba.lg.jp/ryuhan/engei/

発行：千葉県農林水産部流通販売課
首都圏マーケティングセンター
住所：〒143-0001 東京都大田区東海3-2-1
大田市場事務棟4F
電話：03-5492-5416・5407 FAX：03-5492-5407

2月の相場見通しは？！

野菜類は、入荷量は前年並み、相場は前年を下回るか！

果実類は、入荷量は前年を下回り、相場は前年を上回るか！

花きは、入荷量は前年を上回り、相場は前年を下回るか！

やっちゃば閑話 「Tokyo-JAPAN」に見た「信用」の価値 P8

首都圏掲示板 P9

＜今月の4枚＞＊千葉県産「べにはるか」の試食宣伝会を開催しました！！＊

1月26日（火）、大田市場内東京青果（株）のセリ場において、全農千葉県本部、公益社団法人千葉県園芸協会、千葉県の共催により、県内産地で収穫後30日以上貯蔵に取り組み、食味の向上を図っているさつまいも「べにはるか」の試食宣伝会を開催しました。用意した400人分の「べにはるか」の焼き芋は、わずか10分で無くなるほど盛況で、来場者の口からは次々に「うまい！」との声が漏れていました。



C O N T E N T S (目次)

I 青果情報

- 01 1月(中旬まで)の経過
- 02 東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と価格
- 04 2月の見通し
- 05 品目別生産出荷概況
特集「冬レタス」

II 花き情報

- 06 1月の経過(販売経過、入荷量と単価の経過、品目別経過)
2月の見通し(ストック、バラ)

III 千葉県内市場における園芸品の市況概況

- 07 12月の青果物と花き

IV やっちゃんば閑話

- 08 「Tokyo-JAPAN」に見た「信用」の価値

V 首都圏掲示板

- 09 「安房のストックを市場でPR ～JA 安房花卉部西岬支部・神戸花卉生産組合共同販促～」
「1月31日には、男は花を持って帰ろう ～愛妻の日PR～」
「森のアイスクリーム 『アテモヤ』」

用語解説

園芸市場 情報に 使用する 主な用語 解説	急騰	: 前日に比べ大幅に価格が上がる。(3割程度以上)	変動の 幅を 示す 用語	平年並	: ± 2%以内
	強い	: 前日に比べ10%程度以上価格が上がる。		やや	: ± 3~5%
	強保合	: 前日に比べ5%程度以上価格が上がる。		かなり	: ± 6~15%
	保合	: 前日とほとんど同じ価格。		大幅	: ±16%以上
	弱保合	: 前日に比べ5%程度以上価格が下がる。			
	弱い	: 前日に比べ10%程度以上価格が下がる。			
	急落	: 前日に比べ大幅に価格が下がる。(3割程度以上)			
	まちまち	: 産地、品種により、価格の騰落が異なること。			

I 青果情報

1 1月（中旬）までの経過

野菜類

気象	全国的に、1月上旬まで気温が高く推移したが、中旬から寒気が入り込み平年をやや下回った。降水量は平年より、西日本では少なく、北関東では多くなった。1月18～19日にかけて、北関東や九州を含む日本海側の広い範囲で降雪があった。日照時間は、関東では平年並だったが、九州・四国の一部では平年より少なかった。
入荷量	関東産、西南暖地産を中心に入荷した。 依然として生育が前進している「キャベツ類」や「かぶ」等を除き、1月中旬からの低温により、多くの品目で生育は平年並に落ち着きつつあり、入荷は前年並か前年をやや下回る結果となった。 1月上中旬計では73,409t（前年比98.7%）と前年並となった。
相場	入荷量は落ち着きはじめたものの、近年にない供給過剰感はいまだ続いており、価格は、強い安値基調から、1月上中旬計では、232円/kg（前年比87.1%）と前年をかなり下回った。

果実類

入荷量	「みかん類」「かんきつ類」「りんご類」「いちご類」を中心に出回った。 入荷量は前年に比べ、出荷ピークが過ぎた「みかん類」は大幅に下回り、出荷が早まっている「かんきつ類」はかなり上回った。「いちご類」は、上旬までの出荷前進と中旬からの低温の影響により端境となり、前年をかなり下回った。 1月上中旬計では、20,309t（前年比90.1%）と前年をかなり下回った。
相場	価格は前年に比べ、入荷量が少なかった「みかん類」で大幅に上回り、前年がやや安かった「りんご類」もかなり上回った。入荷減となってきた「いちご類」は、中旬から上回った。 1月上中旬計では、447円/kg（前年比107.5%）と前年をかなり上回った。

東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と価格

(単位:t、%、円/kg)

平成27年12月下旬～平成28年1月上旬

品目	産地	12月下旬				1月上旬				1月中旬				1月上旬計			
		開市日数 本年9日・前年8日		開市日数 本年5日・前年5日		開市日数 本年7日・前年7日		開市日数 本年12日・前年12日		入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
		入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比								
野菜総量	—	49,038	112.4	246	84.9	32,452	94.7	250	83.3	40,957	102.2	218	91.7	73,409	98.7	232	87.1
だいこん	市場計	5,160	102.0	56	74.9	3,609	84.7	55	63.0	4,336	109.8	47	63.9	7,944	96.8	51	62.7
	千葉	2,243	93.1	49	70.3	1,474	71.1	54	64.2	1,687	101.7	45	67.3	3,161	84.7	50	64.4
にんじん	市場計	3,610	110.4	95	88.5	1,652	90.6	84	93.9	2,700	105.8	76	99.2	4,353	99.4	79	96.4
	千葉	3,054	110.6	85	85.8	1,505	91.7	85	93.7	2,359	107.5	77	98.7	3,864	100.7	80	96.0
はくさい	市場計	4,912	100.3	35	93.4	3,295	89.6	42	100.3	4,331	101.6	38	107.9	7,626	96.0	40	103.8
	千葉	0	11.9	71	103.2	0	0.4	34	61.4	0	5.7	206	366.0	0	2.7	191	344.6
キャベツ類	市場計	4,641	119.7	50	53.7	4,078	116.9	49	39.6	4,960	118.2	60	51.7	9,038	117.6	55	46.0
	千葉	1,439	119.8	45	47.2	1,390	152.4	45	36.8	1,114	182.8	57	49.3	2,504	164.5	51	42.1
ほうれんそう	市場計	632	126.4	440	67.0	408	101.1	497	65.2	512	97.5	446	80.4	920	99.1	468	72.6
	千葉	98	133.0	355	60.9	68	106.1	389	59.7	85	97.3	376	80.1	153	101.0	382	69.9
ねぎ	市場計	2,364	103.1	268	96.0	1,356	84.6	329	115.4	1,881	104.5	254	121.7	3,236	95.1	286	116.6
	千葉	687	104.8	295	96.2	446	89.4	347	116.2	644	110.2	276	119.7	1,090	100.6	305	116.5
レタス類	市場計	3,032	126.7	208	53.4	2,030	86.2	274	66.4	2,194	101.8	253	88.6	4,223	93.7	263	74.7
	千葉	226	113.5	230	58.5	197	104.1	259	57.7	185	132.1	248	85.3	382	116.0	254	66.4
きゅうり	市場計	1,457	114.5	561	93.4	1,581	96.2	373	81.6	1,434	90.6	439	106.5	3,015	93.5	404	92.9
	千葉	272	85.7	560	98.3	335	100.5	350	83.3	263	91.7	419	101.2	597	96.4	380	91.1
なす	市場計	430	135.3	498	76.7	409	81.4	446	91.7	372	78.0	624	144.9	781	79.8	530	115.6
	千葉	3	124.3	646	94.5	3	90.5	587	96.5	2	83.4	685	122.8	6	87.3	628	107.4
トマト	市場計	1,723	107.9	385	91.4	1,679	90.6	412	112.5	1,533	100.3	459	122.3	3,212	95.0	435	117.3
	千葉	126	102.6	319	83.6	109	88.5	358	106.6	78	107.7	408	116.0	187	95.6	379	110.8
ピーマン	市場計	453	110.1	596	95.6	354	85.8	542	77.1	512	102.8	557	88.9	866	95.1	551	83.3
	千葉	3	157.6	432	60.5	1	109.8	606	88.0	2	154.8	805	108.2	3	133.3	727	101.3
さといも	市場計	720	91.5	351	110.3	113	90.5	326	101.1	193	93.5	298	96.0	306	92.3	308	97.9
	千葉	187	102.0	365	138.7	32	76.3	289	98.9	52	113.8	271	91.5	84	95.8	278	94.4
ばれいしょ類	市場計	2,756	105.1	107	110.0	1,652	86.3	112	108.6	2,707	86.7	122	118.3	4,359	86.5	118	114.6
	千葉	0	78.1	86	29.0	0	0.0	-	-	0	0.0	-	-	0	-	-	-
たまねぎ	市場計	3,751	121.9	69	78.1	1,998	98.9	79	85.2	3,431	95.9	80	81.4	5,429	97.0	80	82.7
生しいたけ	市場計	299	103.9	1,214	89.5	246	100.3	1,116	90.6	216	103.5	1,014	93.5	462	101.8	1,068	91.8
かぼちゃ	市場計	1,032	173.2	206	69.5	515	109.5	188	72.0	930	125.2	183	77.9	1,445	119.1	184	75.4
さやえんどう	市場計	50	122.0	1,176	81.3	39	92.9	902	89.3	46	91.7	964	102.4	85	92.3	935	96.2
かんしょ	市場計	1,141	104.4	272	115.1	521	74.2	243	104.3	1,112	91.8	242	113.1	1,633	85.3	242	109.7
	千葉	567	128.0	231	115.5	273	82.4	232	105.1	611	96.0	223	113.4	884	91.3	226	110.1
かぶ	市場計	622	121.0	111	75.1	441	116.6	128	62.3	503	113.6	112	68.7	944	115.0	120	65.5
	千葉	534	125.2	110	72.3	407	121.9	129	61.1	445	121.1	111	67.4	852	121.5	120	64.1
ごぼう	市場計	489	88.5	374	134.6	137	78.8	383	135.4	219	86.1	374	129.8	357	83.1	378	132.0
	千葉	6	107.2	244	152.0	0	0.0	-	-	0	0.0	-	-	0	-	-	-
こまつ菜	市場計	488	127.9	271	45.4	355	131.1	291	43.6	359	129.7	284	59.4	714	130.4	287	50.3
	千葉	30	125.2	270	48.8	26	142.3	325	51.1	25	153.0	265	60.9	51	147.3	296	54.6
こねぎ	市場計	141	126.0	1,319	103.4	96	88.2	1,328	89.9	115	100.6	1,068	85.0	211	94.5	1,186	87.0
わけぎ	市場計	8.1	96.0	717	79.3	5.1	91.0	765	71.7	6.3	104.7	656	68.6	11.4	98.1	705	69.8
糸みつば	市場計	122	110.0	1,575	91.1	71	102.1	1,086	85.4	42	90.1	456	91.7	113	97.2	851	88.7
しゅんぎく	市場計	151	125.5	667	49.3	141	112.5	780	68.4	118	106.0	522	82.4	260	109.4	663	73.5
	千葉	58	120.7	645	48.7	50	97.5	718	66.8	47	104.0	524	86.5	97	100.5	624	72.9
にら	市場計	260	117.6	795	72.1	225	127.8	725	60.1	304	119.2	577	60.4	529	122.7	640	60.5
セルリー	市場計	309	105.5	275	104.1	221	94.9	320	99.9	231	89.3	267	95.7	452	92.0	293	98.1

品目	産地	12月下旬				1月上旬				1月中旬				1月上中旬計			
		開市日数 本年9日・前年8日		開市日数 本年5日・前年5日		開市日数 本年7日・前年7日		開市日数 本年12日・前年12日									
		入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
カリフラワー	市場計	180	181.7	192	52.5	91	96.9	211	79.1	84	70.6	279	126.4	175	82.1	244	101.1
ブロッコリー	市場計	1,380	217.3	200	44.1	907	152.9	239	52.6	847	121.7	358	82.7	1,754	136.0	297	66.9
サラダ菜	市場計	35	99.9	540	62.9	29	95.9	536	60.9	28	98.2	470	66.1	56	97.0	504	63.1
	千葉	13	105.5	439	53.2	11	103.1	438	56.4	11	107.8	377	62.3	22	105.4	407	58.9
パセリ	市場計	47	112.9	1,090	58.7	19	95.2	1,000	54.6	21	109.2	824	68.0	40	102.1	908	59.4
	千葉	32	113.7	965	55.1	10	99.1	901	52.5	11	109.6	702	60.9	22	104.3	798	55.5
チンゲンサイ	市場計	120	114.6	244	63.5	98	91.7	241	58.1	120	90.9	247	71.4	217	91.3	244	64.9
エンダイブ	市場計	10	106.9	453	70.3	4	111.9	510	70.4	5	102.0	513	85.3	9	106.2	512	78.3
ミニトマト	市場計	525	105.4	769	118.5	552	103.8	763	120.8	455	107.3	739	104.3	1,007	105.4	752	113.0
	千葉	40	97.3	863	122.8	41	94.2	873	126.7	33	105.2	802	101.6	74	98.8	841	115.2
とうもろこし	市場計	2	218.5	362	156.8	2	459.1	431	80.3	3	161.1	397	70.7	5	206.8	409	73.3
いんげん	市場計	99	114.1	867	88.7	82	82.1	795	92.8	88	92.2	834	95.7	170	87.0	815	94.4
そらまめ	市場計	45	177.8	440	61.0	35	159.3	449	61.4	52	141.7	441	64.6	87	148.4	444	63.4
えだまめ	市場計	5	96.8	1,353	79.3	1	127.5	1,694	91.8	6	239.7	1,065	59.9	7	207.7	1,175	65.4
やまといも	市場計	80	93.8	716	112.4	27	75.2	743	113.2	41	84.6	729	115.9	68	80.6	735	114.7
	千葉	44	84.5	691	111.7	14	70.4	720	110.8	26	81.0	716	114.1	40	76.8	718	112.8
根しょうが	市場計	116	87.0	586	101.8	81	95.8	574	99.6	93	89.1	582	98.6	174	92.1	578	99.0
マッシュルーム	市場計	52	120.0	1,037	96.2	32	95.1	984	94.0	40	103.7	932	95.2	72	99.8	955	94.5
外国産	—	1,230	95.5	323	88.5	775	79.3	295	92.1	1,173	92.9	263	89.1	1,948	87.0	276	90.1
果実総量	—	20,162	99.9	430	108.4	7,801	80.4	489	107.1	12,508	97.5	421	109.3	20,309	90.1	447	107.5
みかん類	市場計	13,133	96.9	290	115.8	2,998	66.2	294	114.2	5,197	95.0	312	126.4	8,195	81.9	305	121.4
(早生みかん)	市場計	1,595	84.2	268	110.5	195	48.2	272	103.8	469	103.3	369	119.1	664	77.4	341	118.6
かんきつ類	市場計	1,128	107.6	400	101.8	1,124	110.9	319	96.2	2,505	114.3	345	106.1	3,629	113.2	337	103.0
りんご類	市場計	2,042	93.5	303	106.3	1,288	91.8	310	114.6	2,150	96.1	296	106.5	3,438	94.4	301	109.5
(ふじ)	市場計	1,624	92.3	292	106.0	1,020	87.1	300	112.1	1,804	98.8	289	107.1	2,824	94.2	293	108.9
いちご類	市場計	1,120	118.5	1,940	84.8	1,124	88.7	1,405	94.8	987	83.6	1,385	108.3	2,111	86.2	1,396	100.9
(とちおとめ)	市場計	578	118.4	1,965	85.6	631	115.0	1,263	96.7	584	101.2	1,248	108.7	1,215	108.0	1,256	102.5
(あまおう)	市場計	197	103.8	1,914	83.4	176	57.8	1,784	99.0	136	58.3	1,780	109.9	311	58.0	1,782	103.4
メロン類	市場計	293	120.6	994	91.3	93	85.4	1,318	118.1	112	87.8	1,148	115.5	205	86.7	1,225	116.7
	千葉	6	143.2	906	82.8	3	93.2	1,062	104.5	2	53.1	1,077	102.8	5	72.8	1,067	103.4
(アールスメロン)	市場計	209	119.1	1,164	90.9	59	75.9	1,700	129.8	75	97.2	1,388	108.2	134	86.5	1,526	117.7
	千葉	6	143.2	906	82.8	3	93.2	1,062	104.5	2	53.1	1,077	102.8	5	72.8	1,067	103.4
ぶどう類	市場計	61	136.7	486	112.5	25	114.4	479	125.7	40	127.7	460	112.7	64	122.2	467	117.6
かき類	市場計	508	112.6	393	114.7	96	60.1	435	120.0	95	57.6	460	124.4	191	58.8	447	122.2
外国産	—	1,344	113.6	233	97.7	999	92.8	222	100.5	1,145	100.8	227	101.7	2,144	96.9	225	101.2

注) 斜体で表示した品目は、季節的に入れ替えをします。

0は単位に満たないもの。 —は数値の発表がないもの。

前年比10%以上
前年比10%以下

資料：東京青果物情報センター速報

2 2月の見通し

野菜

関東と九州・四国の西南暖地が中心産地となる。

入荷量は、低温による影響を強く受けた「ほうれんそう」は前年を下回る一方、昨年未からの大幅な生育前進の影響がまだ残る「だいこん」「にんじん」等、生育順調な品目は前年並となり、全体では前年並及び平年並となる見込み。

価格は、低温で生育の停滞した「ほうれんそう」、前年が大幅安だった「ねぎ」で前年を上回る一方、入荷が順調な「だいこん」「にんじん」や前年が大幅に高かった「トマト」等で前年を下回り、全体では高かった前年を下回る見込

果実

「みかん類」「かんきつ類」「りんご類」「いちご類」を中心に出回る。

入荷量は、「みかん類」「かんきつ類」は、気温高の影響によりやや作柄が悪く、前年を下回る見込み。前年並の貯蔵量のある「りんご類」、生育の回復が見込まれる「いちご類」は前年並の見込みで、全体では前年を下回る見込み。

果実全体に品薄感が強まり、「みかん類」「りんご類」を中心に堅調な販売が続くことが見込まれており、価格は前月と同様に前年を上回る見込み。

品目	入荷量(t)		単価(円/kg)		備考 (県内産地の生育状況等)
	前年比	平年比	前年比	平年比	
だいこん	⇒	⇒	↘↘	↓↓↓	主産地の神奈川・千葉ともに生育は順調。入荷量は前年及び平年並の見込み。
にんじん	⇒	⇒	⇒	↓↓↓	主産地の千葉は生育順調。入荷量は前年及び平年並の見込み。
キャベツ類	⇒	↗	↓↓↓	↓↓↓	主産地の愛知は生育前進気味。入荷量は多かった前年並で、平年をやや上回る見込み。
ほうれんそう	↘	↘	↗	↗↗	低温の影響で茨城・埼玉は生育停滞気味。群馬は好天で生育前進。入荷量は前年及び平年をやや下回る見込み。
ねぎ	⇒	↗	↗↗	↘	主産地の千葉・埼玉は生育順調。入荷量は多かった前年並で平年をやや上回る見込み。
きゅうり	⇒	⇒	⇒	↗↗	主産地の宮崎・千葉は生育順調。入荷量は前年及び平年並みの見込み。
トマト	⇒	↘	↘	↗↗	主産地の熊本では曇天・低温による着果不良や生育遅れあり。入荷量は少なかった前年並で平年をやや下回る見込み。

増加

減少

凡例	
⇒	平年並: ±2%
↗, ↘	やや高, やや低: ±3~5%
↗↗, ↘↘	かなり高, かなり低: ±6~15%
↗↗↗, ↘↘↘	大幅高, 大幅低: ±16%以上

3 品目別生産出荷概況

冬レタス

主要産地のレタス類の入荷量(東京都中央卸売市場)

産地	27年2月入荷量	27年2月シェア率
静岡	2,125 t	32.8 %
香川	805 t	12.4 %
千葉	467 t	7.2 %
茨城	772 t	11.9 %

今後の競合産地の動向は?

東京都中央卸売市場における冬レタスは、年内から年明けにかけては静岡県を中心に、香川県、千葉県や九州など各地から入荷し、3月以降は茨城県が中心の入荷となります。

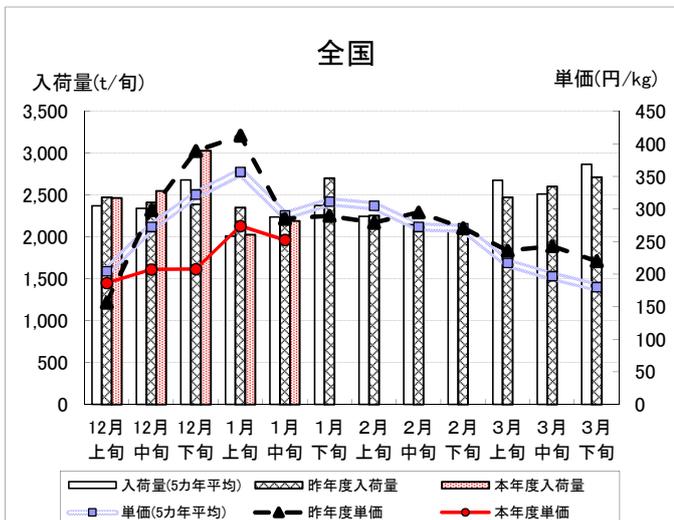
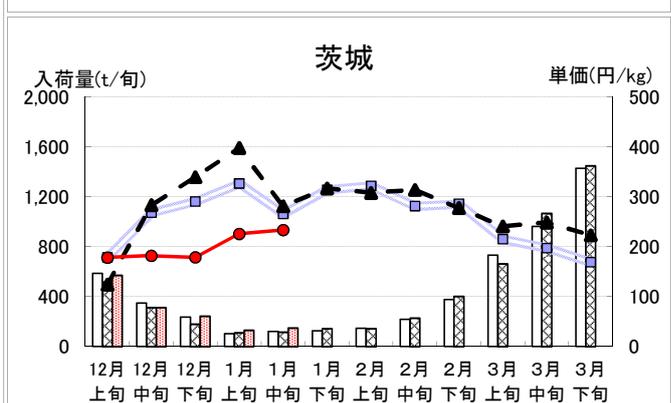
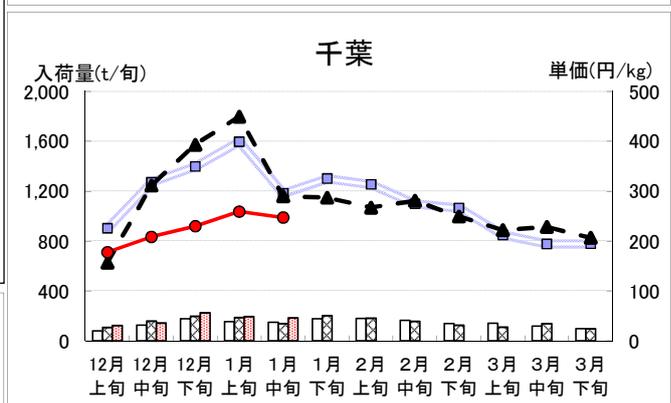
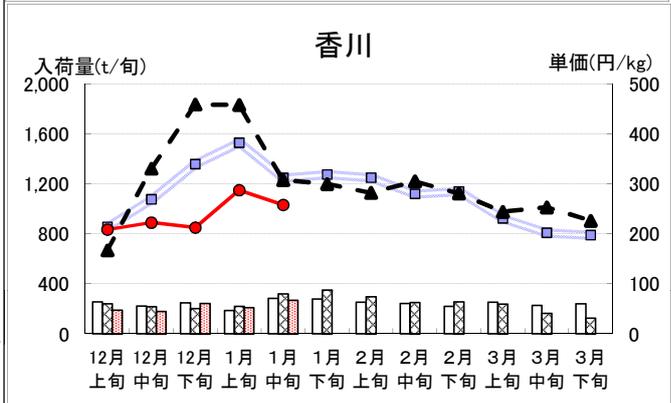
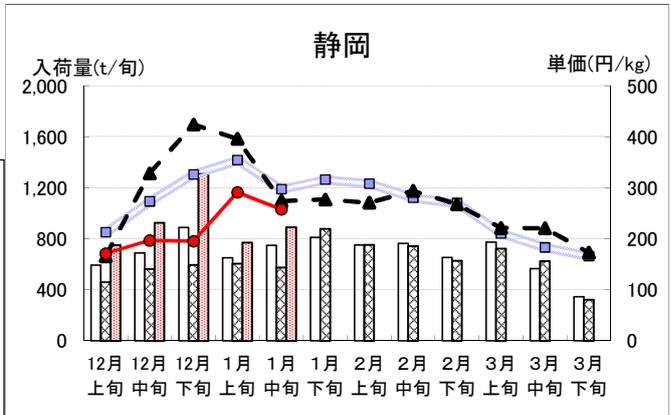
本年度は、11月からの気温高の影響により、各産地の生育が前進したため、年内は入荷量が平年を大きく上回って推移し、価格は低迷しました。年明け以降、低温により生育前進にブレーキがかかり、特に雪の影響を受けた九州からの入荷が不安定となったことから、相場は回復しつつあります。

静岡県、香川県、千葉県は、作柄は平年並と順調ですが、気温高による生育前進の影響で、出荷ピークが前倒しとなっているため、2月下旬から入荷量は減少してくる見込みです。

茨城県は、同じく生育前進の影響から出荷が早まり、例年より早めの2月から入荷が増加してくる見込みです。

2月出荷の産地の減少分を補うように、3月出荷の産地が前倒しで増加する見込みのため、全体として、2月の入荷量は平年並となる見込みです。

2月入荷予測	6,470t(前年比100.0%、平年比100.0%)		
2月価格予測	250円(前年比88.8%、平年比88.2%)		
2月市況予測	(上旬) 保合 ⇒	(中旬) 弱保合 ⇓	(下旬) 弱保合 ⇓



II 花き情報

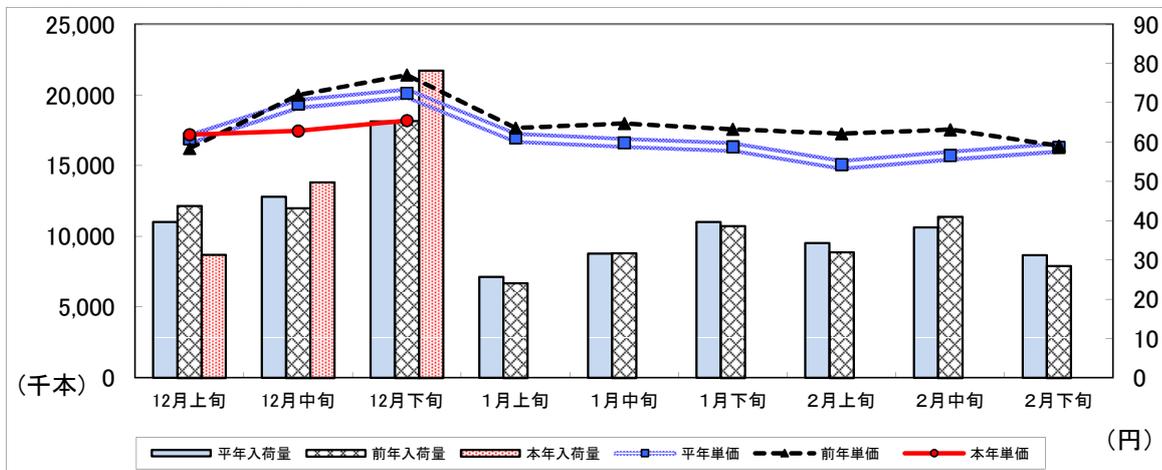
1 1月の経過（切花・上～中旬）

大きな需要の無い時期であるが、暖冬の影響により入荷量は多く、昨年末から引き続き相場は低迷した。

(1) 販売経過（東京都中央卸売市場大田市場）

項目	経過
入荷量	中旬から冷え込んだものの、それまでの温暖な気候で開花が促進されている品目が多く、入荷量は平年を上回った。
相場	大きな需要が無い中、小売・業務向けともに荷動きが弱く、昨年末からの低調相場が継続した。
品目等	入荷量が少なかったチューリップやフリージアを除き、ほとんどの品目で相場は低迷した。

(2) 入荷量と単価の経過〔株大田花き（切花）〕



花き流通情報連絡協議会資料より作成
平年値は過去3カ年の平均

(3) 品目別経過

品目	経過	
ストック	大田花き	暖冬の影響で潤沢な入荷となる一方で、需要の中心である葬儀向けの荷動きは鈍く、厳しい相場展開となった。
カーネーション	大田花き	暖冬の影響で開花が促進して潤沢な入荷となった。一方で、需要面については引き合いが弱く、厳しい取引が続いた。
	世田谷花き	暖冬により競合品目の入荷量が多く、販売に苦戦した。
ガーベラ	大田花き	主力の静岡産を中心に潤沢な入荷となった。競合するスイートピーなどの洋花の入荷も多く、厳しい取引となった。

2 2月の見通し

品目	見通し	
ストック	大田花き	天候によっては端境となる可能性もあるが、現時点では大きく入荷量が減る見込みは無く、高値であった昨年と比べて低調な取引となる。
	世田谷花き	暖冬傾向で開花が前進化している。下旬にむけて入荷量が増大する見込み。
バラ	大田花き	フラワーバレンタインに向け、赤や濃いピンクを中心に堅調な取引が見込まれる。

Ⅲ 千葉県内市場における園芸品の市況概況

1. 青果物

単位：t、円/kg、%

品目	H27. 12月				累計 (H27. 4～12月)	
	数量	単価	前年比		数量	単価
			数量	単価		
野菜	26,674	156	99	91	221,760	195
だいこん	3,237	48	86	90	28,731	86
にんじん	2,320	79	111	96	14,797	134
はくさい	2,899	36	87	100	16,695	83
キャベツ	4,011	52	101	75	40,150	96
ねぎ	1,357	220	103	102	8,212	309
トマト	888	326	93	84	11,794	338
きゅうり	644	492	95	104	9,300	293
ばれいしょ	1,536	97	92	107	11,393	153
たまねぎ	2,101	67	111	76	16,571	105
レタス	991	183	108	74	10,514	196
果実	7,519	319	96	108	53,928	310
みかん	4,189	232	86	126	10,677	219
かき類	430	294	72	118	3,971	218
グレープフルーツ	133	234	140	100	1,578	179
なし類	74	272	169	73	5,310	305
ぶどう類	32	784	103	151	1,985	714
いちご類	335	1,537	104	88	1,493	1,055
すいか類	8	280	44	194	6,338	182
メロン類	67	679	98	112	3,198	376
バナナ	491	142	109	92	4,224	167
りんご	1,046	250	103	107	5,970	299
その他	312	317	95	99	2,291	180
青果物合計	34,505	193	97	97	277,979	217

2. 花き

単位：千本(鉢)、円/本(鉢)、%

品目	H27. 12月				累計 (H27. 4～12月)	
	数量	単価	前年比		数量	単価
			数量	単価		
切り花	3,290	61	100	91	25,489	58
きく	1,188	70	95	100	8,969	63
バラ	101	88	99	89	972	68
カーネーション	391	46	93	85	3,163	47
枝物	638	102	102	121	1,199	93
鉢物	102	192	75	116	1,182	117
その他	12	173	133	76	41	153
花き合計	4,042	71	99	97	27,911	62

※県内公設卸売市場実績。品目は主なもの。数値の「0」は入荷はあるが単位に満たないことを示す。

※「-」は、数値の発表がないことを示す。

IV や っ ら ゃ ば 閑 話

「Tokyo-JAPAN」に見た「信用」の価値

10数年前、タンザニアに「Tokyo-JAPAN」というブランド名の電気ポットがあった。どこの店にもある一般的な製品で、もちろん日本製ではない。

タンザニアでは、中古車といえば日本車。日本車はとにかく壊れない、と現地では「信用」されていた。わざわざ中古車の日本語標記を塗り直し、日本製だとわかるようにしていたほどだ。他の日本製品も同様で、JAPAN=いい製品。それくらい日本製品は、現地で「信用」されていた。

その「信用」に乗っかっていたのが、この偽ブランド(?)「Tokyo-JAPAN」。誰からみても日本への「信用」は明らかだったのだろう。それは日本人としてある意味誇らしい。

真似されるほどの「信用」。それは工業製品だけにとどまらなかった。そのおかげで、日本人の私自身も「信用」され、現地に普及を図っていたバナラ栽培も思いのほかひろがった。農業普及も「信用」されてなきゃ進まない。

そして、青果物流通でも「信用」は大切だと日々感じる。

大田市場には全国各地から様々な青果物が入荷する。そして、青果物の品質は不安定なものだ。そんな中で仲卸や八百屋は、自分のお客さんに自信を持って「商品」を届けなければならない。それには「商品」への「信用」が必要だ。

ある八百屋は、産地、品種はもちろん、生産者まで記憶して買うと聞いた。この人のこの品種なら間違いない。そこまで記憶しているのか、と驚いた。入社した頃から、引き継いで、積み重ねた情報。その情報が財産なのだ。

市場関係者に「信用」されるには? 「さすが〇〇だね!」と言われるには? 市場関係者との味・揃いへの率直な意見交換による商品作り。徹底した計画出荷。糖度・大きさの基準の厳守によるブランド維持。各産地が様々にしのぎを削っている。そして、それに加えて「これなら間違いない」と思い込ませるだけ継続。この長年の積み重ねが、市場関係者の「信用」を得る。

ただ、「信用」を得るには、人も同じ。日々精進しかない。何を、どう改善するか。具体的に決めて、継続することが大切だ。自分も頑張ろう。。。

(ぶわなしゃんば)

V 首都圏 掲示板



安房のストックを市場でPR ～JA安房花卉部西岬支部・神戸花卉生産組合共同販促～

本県のストックは東京都中央卸売市場において、数量・取扱金額いずれにおいても過半数のシェアを誇る、県を代表する切花です。

このストックの主要産地であるJA安房の花卉部西岬支部と神戸花卉生産組合が、1月25日(月)に東京都中央卸売市場世田谷市場において共同販促を行いました。

当日は競売場での買参人へのあいさつや主要品種の展示を行い、これから彼岸の需要期に向けて「旬」を迎えるストックを市場関係者にPRしました。



1月31日には、男は家に花を持って帰ろう ～愛妻の日PR～

花き業界では、愛妻の日(1月31日)、バレンタインデー(2月14日)、ホワイトデー(3月14日)の3つを併せて「3 LOVE STORIES」として、男性から恋人・愛妻への花のプレゼントを提案しています。

その1つ目である愛妻の日に向けて、都内ではさまざまなPR活動が行われました。写真は都内小売店でのフェアの様子です。店舗一面に鮮やかなピンクのアレンジが並べられ、多くの通行人が足を止めていました。



森のアイスクリーム 「アテモヤ」

1月14日(木)、大田市場でJAおきなわのアテモヤ試食宣伝会が開催されました。アテモヤは、独特のクリームのような食感や、その濃厚な甘さから、「森のアイスクリーム」、英語では「カスタードアップル」と呼ばれています。試食会では集まった買参人の方々からも美味しい美味しいと大人気。今はまだあまり目に触れることのない珍しい果実ですが、JAおきなわは今後、更なる販売拡大を目指しており、いつかはスーパーのフルーツの棚に並ぶようになるかもしれません。



美味しいアテモヤを味わおうと
たくさんの方が集まりました